

## 沖縄平和行進報告書

東北地方塩釜支部 幹事伊藤広智

5月17日から3泊4日で沖縄平和行進へ行かせて頂きました。1日目三単参行進結団式を行いました。沖縄の委員長や平和行進団長などの挨拶、各地方の平和行進参加者の自己紹介をしました。

2日目平和行進当日想像より多くの参加者が集まり全港湾以外の組合団体と一般の方々が集まり総勢2000名以上の大所帯で行進しました。

私はレンジャーという貴重な役割を任せられ妨害団体から行進を守る役割をしました。道路の遮断だったり行進する列の整理など役割を全うできたと思います。7.5kmの行進終了後、県民大会が行われ沖縄県市長のお言葉や県議員の方々のお話がありました。普天間基地に対する沖縄の方々の生の声を聞いて自分の立場になって考え住宅地の近くで訓練の騒音や飛行する機械への危険性などがただ事ではないと思いました。その後、全港湾の人達で海軍指令部壕に視察に行きました。実際に使われた道具や生活していた場所を生で見ましたし戦時中の写真などが展示してあり当時の生々しい写真を見て考えさせられる有意義な時間になりました。沖縄地方の方々に招待を受けBBQを行いました。他の沖縄地方の人たちや全国の人たちと交流ができた楽しい時間になりました。沖縄地方の方々は全国に沖縄受け入れのすごさを伝えて欲しいと言っていました。確かに大人数の受け入れのわりにはスムーズでしたし塩釜も負けてられないなと思いました。

3日目、ひめゆりの塔の視察でした。自分たちより年が下の学生が戦争中の社会で育ち当時の教育によって軍事学校に変わっていき、227名1人1人の顔写真と名前が展示してあり当時の写真や生き残った人たちの証言映像などを見てほんとうに生きていた人たちだし画面の中の出来事ではなく昔実際にあったことなのだと伝わってくる場所でした。その後平和祈念公園の視察でした。戦時中無くなった方20万人以上の名前が石碑に掘ってありすごい数の石碑がありました。名前のわからない人の名前も掘ってありその場合、親の名前～の子という表記がされており名前がわからずとも生きていた証になっていました。次に嘉数高台公園の視察でした。高台からは米軍の普天間基地が見えて基地の大きさや米軍機がまるまると見えました。視察した日が休日ということもあり、米軍機が飛んでいる光景を見ることができませんでした。次は瀬嵩ビーチに行きました。沖縄ならではの綺麗な海と対岸には辺野古地区を埋め立てて米軍施設をつくろうと工事が進んでいました。綺麗な海のすぐ目と鼻の先には沖縄のリゾート地のような景観から現実に戻すような工事が進んでいて県民の意志とは開わりなく米軍基地が建設されていました。ホテルへ戻り三単産夕食懇親会が開かれました。沖縄名物の海産物やオリオンビールや泡盛など現地の名産品を口にすることができてとても満足しました。食後には余興で平和行進団長の歌を聞きました。沖縄の報告のために写真を

とっていましたがステージに近寄りすぎて手を引っ張られ一緒に涙そうそうを歌うことになり、全港湾に塩釜支部の名前を売ることができ仕事を果たせたと思います。

今回の出張で戦争への考え方や沖縄の米軍施設問題など多くのことが見えました。米軍を反対する団体とは逆に賛成する団体もあり双方の意見を聞けましたしなにより自分の知識として勉強になりました。個人的にはまた参加したいです。

塩釜支部から平和行進に行ったことない人達にはこれから参加してほしいですし自分からも今回学んだとこを周りの人達に伝えて行ってみたいなって思ってもらえたら嬉しいです。